
again

高瀬 恵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

again

【Nコード】

N5962L

【作者名】

高瀬 恵

【あらすじ】

ごく普通の女子高生の林優子^{ハヤシユウコ}は、高校二年生の夏、自殺した。目が覚めると、そこは生死の”分岐点”だった。

そこで、優子は自分と同じ”自殺者”たちと出会う。

この自殺者たちの中で、”生きて地上に戻る”ことを賭けてのゲームが始まる。

互いに成長しながら、互いに命を取り合っていく・・・

01. 裏切り

うるさく

「キャハハッ、だよねえ。あいつ、超ウザくない？」

ーうるさく。

「優等生ぶっちゃってさあ、そんなに先生に気に入られたいわけ？」

「チクリやがって！根暗のくせにさあ。」

「うるさいっ！！」

親友の奈津がいじめられてた。

あいつらは、タバコを吸ってたことをチクられたからって、逆切れして奈津をいじめ始めた。

だって、堪えられなかった。

あいつらが悪いのに、

何で、奈津が。

だから、怒鳴り付けた。
何も考えずに、勢いで。

その時は、こんなに後悔するとは思わなかったんだ。

もう、

どうでもいいや。

今から、死んでやるんだ。

この、学校の屋上から。

飛び降りて、死んでやるんだ。

何で？

何で誰も助けてくれなかったの？

私は、助けたのに！！！！

誰も、支えてくれなかった。

友達も、

先生も、

家族も、

奈津も、

裏切り者！

裏切り者！！！！

私は胸の中でそう叫びながら、飛んだ。

腕が、痛い。

それしか分からなかった。

02. 分岐点

あれ、まだ生きてる？

さっきから何も変わらない。

腕が痛くて、

目の前は真っ暗。

それに、耳鳴りが・

「お姉ちゃん、起きてってば。」

・
・
・
え？

「・・はっ？」

「あ、やっと起きた！」

小学2年か、3年かぐらいの女の子が、ニコニコしながら私の顔を覗き込んでいる。

不思議ともう腕が痛くない。

混乱中の頭をフル回転させて、次に出す言葉を必死に考えた。

「いっ、どこ？・・・なの？」

周りを見渡すと建物が見えない。一面、真っ白だった。

「んゝゝゝ、私も、よくわかんないの！」

女の子は楽しそうに笑いながら言った。

「・・・どういふこと？わからないって・・・。」

何故か、急に恐怖が襲ってきた。

「あはは・・・私、・・・もう死んだのかな？」

死ぬことが目的なのに。

今更 怖くなるなんて。

「もーっ、何言ってるの？お姉ちゃん。」

「お姉ちゃんは死んでるよ、当たり前でしょ！」

「!! 当たり前・・・? どういうことなの?」

「ええーっ、覚えてるでしょ? お姉ちゃん、自ら死んだんじゃないの。」

何で・・・？

何なの、この子・・・

「知ってる？自殺はね、一番、罪の重い死に方なんだよつ。」

女の子は、ニコニコ笑いながら言ってきた。

でも、目は笑っていない。

軽蔑の 眼差しで私を見ていた。

「分岐点」へようこそ、優子ちゃん。」

「ごっちだよっ！早く早くっ！」

「……っ。」

何なの？ 何なのよ。

死んだら何もかも終わるんじゃないの？

楽になるんじゃないの？

これから、どうなるの？

「ねえ・・・どこに行「あ、そうだ！私ね、私ね、モモっていうんだ！モモちゃんって呼んでね。」

モモちゃん・・・は、さっきとは全く違う無邪気な笑顔を浮かべている。

「あの、」

「何も聞いちゃだめ。」

え・・・？

「聞く権利は、ないよ。」

寒気しか、しなかった。

「着いたあゝっっ！」

「・・・。」

前には大きな神殿のような、立派な建物が見える。

「ここに、あなたの”仲間”が待機してるんだよ。」

「仲間・・・？」

「あ、敵、でもあるのかなあ？」

意味、わかんない

「じゃあ、どうぞっ。入って〜！」

モモの軽い口調で甲高い声が、苛立ちを上げる。

あーあ・・・いいや、どうせもう私は死んでるんだから。

こんなのだらない夢なんだから。

それに、仲間ってことは、私と同じようにこの状況に戸惑っている人が居るかもしれない。

そう思い、迷い無く建物へと入った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5962/>

again

2010年10月9日07時09分発行